



駒留中だより



響きの学び舎

世田谷区立駒留中学校 校長 加瀬 康夫

世田谷区下馬 4-18-1 Tel.3424-3070

かふく

言葉は禍福ともに引き起こす入口のようなものだ。ほんのちょっとした言葉であっても、軽率に口にしてはならない。 渋沢栄一 

【渋沢 栄一】 「日本の資本主義の父」「日本経済の父」などと呼ばれる人物です。日本で最初の銀行である第一国立銀行（現みずほ銀行）を設立した他、東京ガスやキリンビールなど、設立に関わった企業は500以上といわれています。その功績から2024年7月3日より発行される新1万円紙幣の肖像画となりますので、今後は今まで以上に目にしたり耳にしたりすることになると思います。

今月は全校朝会がちょうど6月10日でしたので、「時の記念日」について話をさせていただきました。なぜ6月10日が「時の記念日」となったのか、なぜそのような記念日を決めたのかなどを紹介しましたが、この記念日が1920年に制定されたのは、「生活改善同盟会」という組織が時間を守ることの大切さを広めようとしたからであり、この組織の中の一人として渋沢 栄一がいました。（他にも初代総理大臣 伊藤博文などもいました。）

この当時は社会生活の近代化が推進されたために時間の厳守、効率性の向上が求められるようになっていったのですが、利益の追求のためだけに時の大切さを広めようとしていたわけではなさそうです。渋沢 栄一は様々な企業設立に関わっていますが、基本的に「儲けの実を求めるのではなく、世のため人のために働いて儲ける、つまり公共の利益を追求することで皆が幸せになる」と考え実践していたそうです。

「できるだけ多くの人にできるだけ多くの幸福を与えるように行動することが我々義務である。」という言葉も残しています。

他にもいろいろと名言といわれる言葉が残されているのですが、その中の1つが「言葉は禍福ともに引き起こす入口のようなものだ。ほんのちょっとした言葉であっても、軽率に口にしてはならない。」です。

今年度の入学式で「言葉を入れ替える」「言葉の使い方を切り替える」ことを意識してもらいたいという話をさせていただきましたが、同じような思いのこめられた言葉だと思います。「おはようございます。」「ありがとうございます。」「大丈夫」「一緒にやろう。」などの言葉と「もう無理」「やだ」「めんどくさい」などの言葉、（もっと他人をひどく傷つけたり、攻撃的な言葉というものもありますが）そのような言葉はどんな禍福（災いと幸い）につながっているのでしょうか。ちょっとした言葉を一時の感情で選び、思いがけず発してしまうことで取り返しのつかないことになってしまうかもしれません。「口は災いの元」などという言葉もよく知られている言葉としてあります。

そして、皆さんに意識してもらいたいのは、軽率な言葉を使うことには、気を付けなければいけません。合わせて、言葉選びをきちんと行えば、それは福（幸せ）を引き起こす入口につながる、ということもしっかり理解してもらいたいと思います。

人格の完成をめざして（6月）

あなたの役割を自覚して行動していますか？

家族の一員として、毎日家事を分担しています。

自分のやらなければならないことに一所懸命取り組みます。

社会のルールや法律を守ります。

自分の約束したことは、最後までやり遂げます。



運動会を6月1日（土）に実施しました。

6月1日（土）に予定通り運動会を実施いたしました。台風1号の接近により天気予報も次々と変化していく中でヤキモキしていましたが、すべてを予定通り実施することができました。昨年度から保護者・来賓などは人数の制限を設けずに参観していただけるようにしていましたが、昨年度は台風の影響で土曜日に開催することができなかったので、数年ぶりの参観者の人数制限なしでの土曜日開催となりました。昨年度も企画はしていたのですが、実施できなかった小学生種目も行うことができました。（こちらで予想していた以上に多くの児童が参加してくれました。）多くの保護者や地域の方々に参観いただけて生徒にとって、とても励みになる行事とすることができました。当日の様子は学校HPをご覧ください。



生徒総会（5月17日（金））が行われました。

5月17日（金）に生徒総会が行われました。生徒会という組織は、「学校内外における生活の全領域において自主的かつ積極的に行動し、社会生活に必要な態度と習慣を身に付けることを目的」としており、生徒総会はその最高議決機関になります。この生徒総会に向けて1か月程の期間をかけて、生徒会本部および各専門委員会で話し合いを進め、議案書を作成して、各学級による議案書討議を行い、質問や要望に対する答弁を行う準備をそれぞれの委員会で行い、当日を迎えるという手順を踏んでまいりました。よく言われることですが、生徒会とは、生徒会役員や専門委員など一部の人が活動をする場ではなく、駒留中学校の生徒一人一人が生徒会のメンバーであることを再認識して、自分たちの力、考えで駒留中学校をより良くするための考え、意識を共有する時間となったと思います。



安全に対する指導 ●セーフティー教室（5月16日（木））

●ネットリテラシー醸成講座【1年】（6月13日（木）） ●避難訓練【不審者対応】（6月14日（金））

「学校は、生徒一人一人にとって自分の安心できる居場所があり、自分の良さを見つけられるとともに自己の尊厳を実感できる場所であってはならない。」これは、学校経営の基本理念として一番最初に掲げているものです。その理念に基づき、学校では様々な安全教育が行われています。

●セーフティー教室

「生徒の健全育成の活性化及び充実を図る。」「家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止を推進する。」「生徒がスマートフォン、インターネット犯罪に関するトラブルに巻き込まれないために、注意すべきポイントを学ぶ。」これらを目的として世田谷警察署生活安全課に協力を依頼して実施しました。全校生徒及び保護者参加での講演後、世田谷警察署生活安全課、本校教職員、学校協議委員、保護者で意見・情報交換を行いました。



●ネットリテラシー醸成講座

この取り組みは世田谷区内の小学校6年、中学校1年を対象にして毎年実施されています。目的は、「メール・ネットいじめ防止対策の一環として、次々と変化する子どもを取り巻くネット・メディアの最新事情に詳しい専門会社の講師が、インターネット、ソーシャルメディア等の上手な付き合い方、注意点などについて講義を行うことにより、子どものネットリテラシー醸成を図る。」となっています。



●避難訓練【不審者対応】

この訓練は、「不審者から自己を守るという意識を持たせる。」「避難の仕方を知らせる。」「真剣に取り組む態度を養う」「教員の動きの確認」を目的としており、生徒が登校後の8時32分に不審者が校内に侵入という想定で生徒には事前に周知することなく実施いたしました。

